

【児童通所支援事業所 すだち：放課後等デイサービス 自己評価 集計結果】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	5		・下校時間が重なり、大人数が一度に到着した際には足りないと感じることがあるが、別室に誘導したり、待つことを伝えながら対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	4		・配置数としては適切なのかもしれないが、状況によって足りないと感じることがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1		・バリアフリー化されている。(2)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	6	3		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	2		・保護者向け事業所評価を行い、結果を公表している。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	2		・事業所評価の結果は公表の義務があることは職員に周知している。 ・ホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	1		・ISO外部監査を受審している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1		・各職員の力量等にに応じた研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	2		
	10	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	3		・事業所独自のアセスメントシートや分析表を活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1		・各担当を決め、毎月のミーティングで話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	4		・製作活動やおやつ作り等の行事を行っている。(2)
	13	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め、綿やかに設定して支援しているか	5	4		・学校休業日、長期休暇中は療育、訓練の回数や時間、量を増やしている。(2)
	14	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2		・会議等で情報共有している。 ・朝礼時にその日の活動を確認している。
	16	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7	2		・支援の振り返りの時間をもう少し増やせると良いと思う。 ・終礼では、児童の様子やその日気になったこと等を申し送っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1		・ケース記録として個々の児童の様子等を記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1		・定期的に見直しを行っている他、面談やケア会議後に計画内容を変更するなどの見直しを行っている。(2)
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	2			
関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の来校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	2		・保護者から情報をいただいている。
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか	3	6	1	・情報の変更等あれば、保護者から教えていただいている。(2)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有を相互理解に努めているか	6	2	1	・利用決定後に、情報共有会議を行い、事前に情報を共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	4		・要望があった際には情報提供をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子供と活動する機会があるか	2	3	4	・定型児やその保護者、児童クラブ等の支援員がどの程度障がい特性を理解し、受容しているのかを確認し、必要があれば事前の準備や説明等が必要であり、慎重に進めていく必要がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	4		・児童発達支援連絡協議会、放課後等デイサービス連絡協議会(共に郡山市子ども支援部に属する協議会)に参加している。
	28	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	2		・迎え時や面談時に利用中の様子を伝えている。
	29	保護者に対する対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	2	・研修参加後、学んできたことを活かせるよう努めている。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	2	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	2	・保護者交流会、勉強会を開催している。
	33	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	9		・ホームページや広報誌で発信している。(2)
	35	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	9		
	36	障がいのある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9		・必要に応じて面談等を行っている。 ・できないことよりもできることに注目し、伝えるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	2	1
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1	・勉強会、訓練等に参加している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		・月に1回訓練を実施し、年2回は消防署の協力を得て総合防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		・虐待防止委員会や虐待についての勉強会に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1	・契約時に、拘束を受けることはない場合でも、どのような場合、場面が拘束とみなされ、同意をいただくことになるのかを説明している。
	42	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9		・施設全体でヒヤリハット、事故の内容、対応策を共有し事故防止に努めている。